

総合英語Ⅱ B ①

岡村 光浩

リテラシー〈語学〉 講義 1～4年次 前期 2単位 ※予備登録実施、「その他」参照

授業目的・方針、到達目標

「読む・書く・聞く・話す」の4技能を総合的に訓練する。まず教材(クラスにより異なる)の英文を声に出して読む/パートナーと会話練習することで英語のリズムを体に覚え込ませる。読み物の部分では、基礎英文法を確認しつつ文意を的確に把握する練習をすると共に、本文聞き取りや音読を反復練習する。教材についての感想を英語で話したり書いたりする練習も行っていく。英語で情報をinputするための基礎力を鍛え、失敗を恐れずoutputする姿勢を身につけることを目標とするが、海外事情や文化についても、楽しみながら理解を深めてもらいたい。

授業内容

- 1: オリエンテーション (授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他)
- 2: Lesson 13 Business 終身雇用のメリット
- 3: Lesson 14 Jobs 無意味と思える仕事が失業率低下に貢献?
- 4: Lesson 15 NHK vs. PBS NHKは受診料に頼らない資金集めを
- 5: Lesson 16 Marriage Ceremonies 結婚祝いはやっぱ現金が一番?
- 6: Lesson 17 American Culture 文化の輸入は一方通行
- 7: Lesson 18 International Marriage 国際結婚と夫婦の役割
- 8: 前半のまとめ
- 9: Lesson 19 Apartments アメリカのアパートには付属品がいろいろ
- 10: Lesson 20 Technology インターネットは故郷との架け橋
- 11: Lesson 21 School Rules 規則でしばって勉強に集中できる?
- 12: Lesson 22 Drinking 未成年の飲酒を厳しく取り締まろう!
- 13: Lesson 23 Entertaining 家それとも居酒屋で飲み会?
- 14: Lesson 24 Choice ぴったりのものを選びたい!
- 15: まとめ

準備学習

中学・高校英語、特に基礎的な英文法と語彙を徹底的に復習しておくことが望ましい。

評価方法

平常点(宿題・予習状況・受講姿勢)・小テスト/提出課題・定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『そのまま日米比較』ジョージ・トラスコットほか(南雲堂)2009年

※今年度テキストを変更したが、前期のみ昨年度までのテキストを継続利用する。

参考テキスト

担当講師より指定、またはプリント等を配布する場合がある。

各自準備物

英和/和英辞典(紙版推奨): ジーニアス(大修館)・ウィズダム(三省堂)・プログレッシブ(小学館)等

その他

プレイスメント・テストの結果に基づき教務課が指定するクラス・時間帯で受講することを原則とする。なお総合英語Ⅱの履修には総合英語Ⅰの単位取得が必須である。

1. 総合英語ⅠBを修得した者に限る。テキストは昨年度総合英語ⅠBと同じものを継続使用する。十分予習した上で授業に臨むことは大前提である。
2. 欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。
3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。その他詳細は各担当講師より指示する。